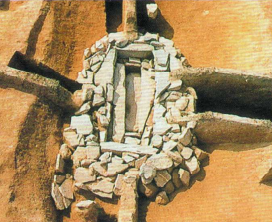


▲第1号古墳後部の埋葬施設（調査中・1989年）



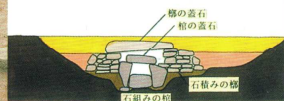
▲1号埋葬施設（調査中・1989年）



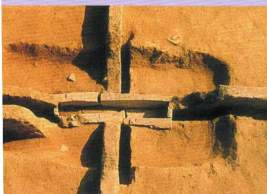
▲2号埋葬施設（調査中・1989年）

●三ツ城第1号古墳の埋葬施設

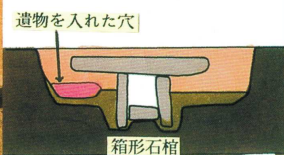
後円部に3基の埋葬施設があります。そのうち1号埋葬施設と2号埋葬施設は、石を箱形に組んだ石棺(箱形石棺)のまわりに更に石を組んでひと回り大きな部屋(柵)を造っていて、それぞれに石の蓋があるという二重構造をした珍しいかたちの埋葬施設です。



3号埋葬施設は、箱形石棺です。その外側には、副葬品を納めるための穴を別に設けています。



▲3号埋葬施設（調査中・1989年）



埋葬施設の中から出土したもの

1号埋葬施設		2号埋葬施設		3号埋葬施設	
人骨	1	人骨	1	玉類(勾玉など)	5
玉類(勾玉など)	18	玉類(勾玉など)	4	鉄製の剣	2
銅製の鏡	1	柵	4	鉄製の鏃	1
鉄製の刀	2	銅製の釦(プレスレット)	1	鉄製の鏃	80
		鉄製の刀	1		
		鉄製の小刀	2		
		鉄の金具	1		



▲出土した土輪（復元後）



▲整備後の墳丘



▲整備後の土輪の列



▲整備後の埋葬施設

三ツ城古墳案内図

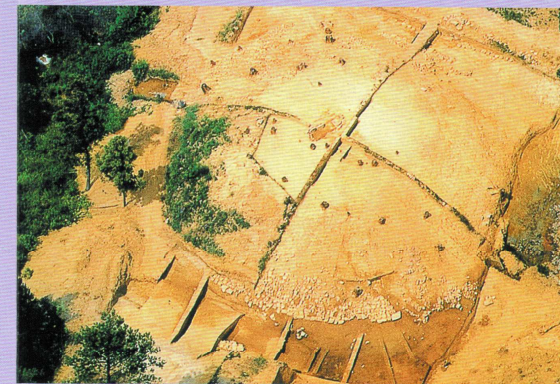


●三ツ城第2号古墳

第2号古墳は、直径約25m、高さ約4mの円墳で、墳丘斜面には葺石がしかれていましたが、埴輪はありません。

頂上には箱形石棺と思われる埋葬施設が1基ありましたが、早くから石棺に使われていた石がなくなって、発掘調査でも詳しいことはわかりませんでした。

この古墳は、5世紀の前半に、第1号古墳より先に造られたものと考えられます。

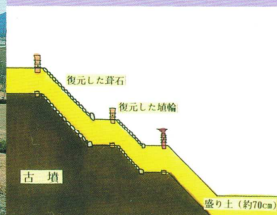


▲第2号古墳空中写真（1990年）

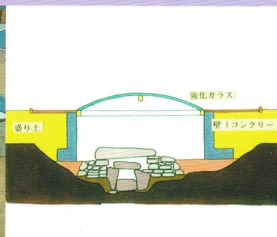
●保存整備の方法

古墳の上に約70cm盛土して、墳丘を保護した上に葺石などを発掘調査成果に基づいて実物そっくりに戻して

います。また、第1号古墳の埋葬施設は、実物がそのまま見られるようにガラスの覆いをかけて



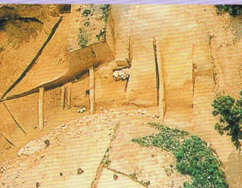
▲古墳の復元（約70cm盛り土）



▲埋葬施設の復元（強化ガラス・コンクリート）

●三ツ城第3号古墳

第3号古墳は、南側の丘陵と第2号古墳を区切る溝のなかに造られた古墳で、長径約8m、短径約4m、高さ約1mの楕円のかたちをした古墳です。6世紀前半ごろに造られたようです。



▲第2号・第3号古墳空中写真（1990年）

三ツ城第3号古墳の埋葬施設

この埋葬施設は、長さ約1.5m、幅20~50cmの箱形石棺です。石棺の中には、副葬品はありませんでした。



▲第3号古墳の箱形石棺（検出状況）

▲同左（蓋石を取り外した状況）